

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|----------|---------------------------|--|
| | 8 | 婚活応援事業 | | |
| 担当課 | 定住促進課 | 担当係 | 定住促進係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 1. 自然+idea | (1) 土地利用 | ① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策) | |
| 事業の概要 | 結婚の意欲はあるが、出会いの機会に恵まれない方々に出会いの場を提供し、結婚と定住のきっかけを作るため、婚活イベントやセミナーを実施する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 婚活セミナー 2回開催(※オンラインによる開催) 「婚活必勝法」(R3.12.20開催、参加:40名) 「男女脳の違いとは」(R4.2.2開催、参加:43名) | | | | |
| 婚活イベント 1回開催(※オンラインによる開催) 「日本酒でほろ酔い婚」(R4.2.18開催、参加:男性5名、女性5名 1組マッチング成立) | | | | |
| 業務開始年度 | 平成29年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 400 | 千円 | 396 | 千円 |
| 内 補助金等 | 200 | 千円 | 198 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 婚活セミナーでは、それぞれ約40人の参加をいただくとともに、婚活イベントでは1組のマッチングが成立するなど結婚を希望する方々のサポートを図ることができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 令和3年度はセミナー・イベントともにオンラインでの開催を行った。今後はウィズコロナを見据えたイベント形式を検討する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も継続して事業実施を行い、結婚と定住のきっかけを作るために、成婚に向けたサポート等を実施する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-------------|---------------------------|--|
| | 11 | 地区計画制度活用の推進 | | |
| 担当課 | 定住促進課 | 担当係 | 都市計画係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 1. 自然+idea | (1) 土地利用 | ① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策) | |
| 事業の概要 | 地区計画制度を活用して、市街化区域に隣接する市街化調整区域を住宅用地として整備していくことを推進する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 市街化調整区域における地区計画の運用基準を策定し、地区計画に対する町の考え方を整理した。また、町内の市街化調整区域4地区(倉野・塚原・夜水・真尻地区)において、地区計画の策定に向けて条件等の協議を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 市街化調整区域の園部の牛逢地区において地区計画を都市計画決定し、住宅用地としての土地利用が可能になった。 |
| 事業の課題・問題点 | 地区計画の策定には、周辺住民の合意が必要なため、周辺住民へ丁寧に説明をする必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 地区計画の策定手続きを進める際に町主催で説明会を開催しているが、地区計画の計画段階で、前もって地元説明会を開催し周辺住民へ計画を周知することで、スムーズに地区計画を都市計画決定できるよう努める。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|------------|---------------|--|
| | 19 | 森林環境譲与税事業 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 農林業振興係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 2. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | ① 災害に強い山林河川整備 | |
| 事業の概要 | 森林環境譲与税を財源とし、林業の人材育成、担い手の確保、森林整備及びそれにかかる調査業務等の事業を実施するもの。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|-----------|-------|----|
| 林業の担い手育成を図るため、林業の基礎知識や、間伐・造林等の方法を学ぶ3日間の講座(実技・座学)を開催した。また、適切な森林整備を行うため、約4haの森林調査測量業務を実施し、まずは現状の対象森林内の樹木の成立本数や、樹高等の把握を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和元年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | | |
| 総事業費 | 4,625 | 千円 | 4,326 | 千円 |
| 内 補助金等 | 4,625 | 千円 | 4,326 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 講座については、林業用機械の技術研修に関する関心が高く、担い手の育成を図るという目的に沿った効果が発揮された。また、森林調査業務については、森林の現況を把握することにより、今後の森林整備に向けた基礎資料とすることができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 林業については、専門知識を必要とすることが多く、町民の知識力の向上を図ることについては、ハードルが高い。また、森林調査については、調査業務に多大な費用と労力を必要とするため、その予算の確保と、作成した調査結果をより深く理解するための職員の知識力が必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 林業の担い手育成のための講座については、令和4年度についても開催し、受講者のニーズに合った内容のものを開催する。また、令和3年度に実施した森林調査の結果をもとに、令和4年度の事業の方針をより基山町の森林状況に即したものとなるよう、県や地域林政アドバイザー、森林所有者、林業事業体と協議し検討していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|------------|-----|--------------------|
| | 21 | 環境保全事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | | ② 自然と身近にふれあえる基山づくり |
| 事業の概要 | 基山町の豊かな生活環境を守るため、自然環境保護用地の借上げや、大気、土壌、水質について定期的な検査を行う。また、不法投棄防止のパトロールと投棄ごみの回収を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|--------|-----------|-----------|----|
| 1名の方から自然環境保護用地の借上げを行っており、借り上げ料を支払った。また、産業廃棄物最終処分場影響検査において、大気1か所、水質7か所、土壌1か所の検査を1回行った。不法投棄の通報を発見した場合は回収を行いクリーンヒル宝満で処理を行った。家電4品目については年度末に一括してリサイクル料金、運搬料を払い、収集指定業者に処理を依頼した。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,039 | 千円 | 2,794 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 水質・土壌・大気検査を実施することにより、産業廃棄物最終処分場からの影響がないかを確認することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 環境美化推進員やアダプトプログラムのボランティアの協力により、ごみの少ない生活環境を保っているが、たばこや空き缶等の不法投棄は、後を絶たない状況にある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 ごみのない生活環境を維持していく事が不法投棄の抑止になるため、今後も継続して環境美化活動を行うとともに、投棄箇所への看板設置、警察、環境美化推進委員等と連携し不法投棄の発見・防止に努めていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|--------------|----------------|--|
| | 24 | アダプト・プログラム事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | ③ 協働による環境美化の推進 | |
| 事業の概要 | 道路や公園、河川などの美化のために、町民が道路などの里親となり、ボランティアで清掃活動を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | | |
|---|--|-----------|----|-----------|----|
| ●令和3年度参加団体:61団体、参加人数:923人、保険加入数:776人 ●令和3年度支給物品(ゴミ袋・備品):可燃(大)1,355枚・可燃(小)155枚・缶70枚・ビン38枚・不燃46枚・ペット95枚・土嚢袋150枚・竹箒16本・熊手31本 ・軍手51組・鎌1本・わじり鎌4本・赤シダ箒15本・火ばさみ12本・枝切ばさみ8本・てみ3個・ゴム手袋3組・草刈り機用替刃144枚・カラーコーン(重し付)5組 | | | | | |
| 平成13年度 | | | | | |
| | | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | | 665 | 千円 | 445 | 千円 |
| 内 補助金等 | | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 令和3年度の参加人数が923人であり、前年度(令和2年度)の参加者数848人より75人多くの方に参加していただいた。 |
| 事業の課題・問題点 | 参加者は増加しているが、高齢化等の理由により、アダプト活動をやめられる方も出てきており、新たな登録者の確保が課題となっている。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 アダプト活動の参加者を増やすため、農業者などの個人や行政組合単位で参加の呼びかけを行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|--------------|-----|----------------|
| | 25 | 生ごみ処理機購入補助事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | | ③ 協働による環境美化の推進 |
| 事業の概要 | ごみの減量化(ごみの発生抑制、再使用、再利用)のため、生ごみ処理機購入補助を推進する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| コンポスト6基及び電動生ごみ処理機9基の購入に対する補助を行った。(対象人数:13人) | | | | |
| 業務開始年度 | 平成4年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 230 | 千円 | 171 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 生ごみを各家庭で再利用・再使用することでごみの排出量が減り、町が負担金として支払う、ごみ処理場(クリーンヒル宝満)の維持費削減につながった。 |
| 事業の課題・問題点 | ごみの減量化に生ごみ処理機の普及は直接的な効果が期待できるが、補助件数が伸び悩んでいる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 広報による周知や取組者の口コミ等により、生ごみ処理機を活用し、ごみの減量化に取り組む世帯を増加させ、ごみの減量化を推進していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|------------|-----|----------------|
| | 26 | ごみ収集・処理事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | | ③ 協働による環境美化の推進 |
| 事業の概要 | 筑紫野市、小郡市、基山町の2市1町により収集したごみを、広域ごみ処理施設「クリーンヒル宝満」へ運搬し、適正処理を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|------------|------|------------|--|
| 指定業者に収集を委託し、家庭から排出されたごみをクリーンヒル宝満に搬入した。クリーンヒル宝満において可燃ごみは焼却を行い、金属等一部の不燃物や缶等の資源物については、分別後有価売却を行った。食用油や紙類等は、クリーンヒル宝満を通さず独自処理先に売却を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 昭和40年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 374,015 千円 | | 371,280 千円 | |
| | 内 補助金等 | — 千円 | — 千円 | |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 町内から排出されたごみを適正に処理できた。 |
| 事業の課題・問題点 | 町の収集方法は効率的な集積所型を採用しているが、高齢世帯が増え、個別収集を求める方が多くなることから新たな収集ルールが必要となる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 戸別収集の相談があった際には周辺住民に協力を依頼し、できるだけ複数世帯で集合した、ごみ集積所の新設を勧めるなどの対応を行っていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|------------|----------------|--|
| | 27 | 環境美化事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | ③ 協働による環境美化の推進 | |
| 事業の概要 | 地域ごとに環境美化推進員を選任し、美しいまちづくりを目指す。また、リサイクルの推進と不法投棄防止の巡回パトロールを実施する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 環境美化パトロール業務として、17名の環境美化推進委員に毎月、区内における不法投棄のパトロールの実施後、その内容を報告書で提出いただいている。また町内全域美化活動として、町内全域一斉美化活動「クリーンアップKIYAMA」(11月21日午前開催)を実施し、各区公民館において、ごみの回収と分別を行った。県内一斉「ふるさと美化活動」を5月30日に予定していたが、コロナウイルス感染症予防のため中止した。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,972 | 千円 | 3,868 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 「クリーンアップKIYAMA」可燃用ごみ袋等751袋 5,048kg 参加者は各区の住民以外に、1団体・8事業所 71名の参加があった。 不法投棄については環境美化推進員からの情報提供により、素早い対応と回収を行うことができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 道路のたばこの吸い殻やおにぎりの包み紙等のポイ捨てや犬猫のフン、猫のトイレ用砂の不法投棄の苦情がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 道路へのポイ捨てや犬猫のフン等に対して、看板や広報、チラシ等で注意喚起を行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|------------------------------------|------------|----------------|--|
| | 28 | 環境基本計画策定事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | ③ 協働による環境美化の推進 | |
| 事業の概要 | 環境基本条例に基づき、環境施策の中心となる環境基本計画の策定を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|--|-----------|-----------|----|
| 第1回環境審議会(7/27):環境基本計画の流れ及び骨子案・町の環境の将来像の説明 環境住民ワークショップ(9/18):環境意識調査(アンケート)と内容検討 第2回環境審議会(9/30):環境基本計画骨子案検討及び環境住民ワークショップ結果分析 第3回環境審議会(11/10):環境基本計画骨子案検討 第4回環境審議会(1/20):環境基本計画(案)及びパブリックコメント回答(案)検討 第5回環境審議会(2/2):環境基本計画(案)答申・ゼロカーボンシティ宣言 上記の環境審議会等を経て、令和4年2月に環境基本計画を策定。 | | | |
| 業務開始年度 | 令和2年度 | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,089 千円 | 2,189 | 千円 |
| 内 補助金等 | — 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 基山町環境基本条例が掲げる基本理念と基本方針に基づいて、町、事業者及び住民が一体となって行う環境の保全及び創造に関する目的を達成するための具体的な施策その他重要事項について定めた、環境基本計画を策定することができた。進捗状況を検証しやすくなるよう指標の数値化を図った。 |
| 事業の課題・問題点 | 環境に関する町の将来像や基本的な施策や目標を定めているが、より具体的な施策を検討・実施し、毎年検証していく必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 完了 | 第2次評価 | 完了 |
|--------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 環境基本計画に基づき、より具体的な施策を検討・実施する。毎年、進捗状況を検証し、5年後に見直しを行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---------------------------------------|------------|-----|----------------|
| | 32 | し尿処理事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | | 担当係 | 環境対策室 生活環境係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 1. 自然+idea | (2) まちなみ環境 | | ③ 協働による環境美化の推進 |
| 事業の概要 | 三神地区汚泥再生処理センターにおいて、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|---|-----------|------|-----------|
| 指定業者に収集を委託し、家庭から排出されたし尿及び汚泥を三神地区汚泥再生処理センターに搬入した。三神地区汚泥再生処理センターでは、し尿及び汚泥の浄化処理を行ったほか、汚泥を発酵して堆肥化した肥料の販売を行った。(毎週木曜日、販売) 「神埼・三養基地域循環型社会形成推進地域計画」(長寿命化計画)に基づく基幹的設備改良工事(令和4年度～令和7年度)のための準備作業を行った。 | | | |
| 業務開始年度 | 平成14年度 | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) |
| 総事業費 | 67,194 千円 | | 67,145 千円 |
| | 内 補助金等 | — 千円 | — 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 基山町内から排出されたし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理できた。 し尿178kg、浄化槽汚泥382kg、合計560kg(令和3年度実績) |
| 事業の課題・問題点 | 今後、施設の経年劣化に伴う基幹的設備改良工事を行うことにより、大規模な修繕費が見込まれる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 令和元年度に策定した「神埼・三養基地域循環型社会形成推進地域計画」(長寿命化計画)に基づき、交付金事業による計画的な設備の更新を行い負担軽減を図る。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|----------------------------|------------|-----|-----------------|
| | 43 | 町道舗装補修事業 | | |
| 担当課 | 建設課 | | 担当係 | 公共工事計画係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 1. 自然+idea | (4) 交通基盤整備 | | ① 計画的で安全な交通基盤整備 |
| 事業の概要 | 町道の安全な通行確保のため修繕や補修工事などを行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|--|-----------|-----------|-----------|
| 例年、道路点検により優先順位を定め舗装補修工事を行ってきたが、令和3年度に町道の路面性状調査を実施し、舗装の損傷具合のほか通学路やコミュニティバス路線に該当しているか等を総合的に判断して順位付けを行い舗装維持管理計画を策定した。 | | | |
| 業務開始年度 | — | | |
| | | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) |
| 総事業費 | 24,491 千円 | | 24,382 千円 |
| | 内 補助金等 | 1,823 千円 | 1,823 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | これまでは、舗装補修工事について長期的な視点に立った優先順位が定まっていなかったが、今後は舗装維持管理計画を策定したことにより計画的に事業を進めていくことができる。 |
| 事業の課題・問題点 | 舗装維持管理計画に沿って、計画的に舗装補修工事を行っていくが、道路陥没や路肩崩壊が発生した際には随時修繕を行うなど緊急的な対応も必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 道路の安全な通行確保及び振動・騒音の抑制のため予防保全の視点から舗装維持管理計画を策定した。計画的な舗装工事を実施するために必要な事業費の確保を行うこと、また今後の交通量等状況変化に対応するため、管理計画の見直し更新を図る時期の見極めが重要となる。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|----------|-----------------|--|
| | 48 | 育英資金貸与事業 | | |
| 担当課 | 教育学習課 | 担当係 | 教育総務係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 2. 教育+idea | (1) 学校教育 | ① 時代に適応した教育力の強化 | |
| 事業の概要 | 勉学に意欲がある高校生や大学生等で学資の支弁が困難な方に、就学期間中に無利子で育英資金を貸与する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 令和3年度には、7名の奨学生に1,560千円の貸与を行った。また、令和4年度からの制度拡充を行った。今まで対象としていなかった高等専門学校専攻科(4年生以上)及び専修学校の専門課程(専門学校)の学生も対象とし、償還期間も、6年から10年へ期間を4年間延長した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 昭和40年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 1,560 | 千円 | 1,560 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 7名の奨学生に1,560千円の貸与を行った。ここ数年で、基山町育英資金運用委員会において課題とされていた、繰越金が20,000千円を超えており、使い道などの改善方法を検討すべきという点について、制度の拡充を行った。 |
| 事業の課題・問題点 | 対象を上げたり、償還期間を延長したりして制度の改善を行ったものの、貸付を希望する学生が増えていないため、広報のやり方等の見直しを行う必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 ・12月に町広報・ホームページに募集の記事を掲載する。 ・この制度のプリント等を配布して高校に周知を図る。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|--------------------------|-----|------------|
| | 59 | 中学校放課後・長期休業・土曜日補充学習等支援事業 | | |
| 担当課 | 教育学習課 | | 担当係 | 学校教育係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 2. 教育+idea | (1) 学校教育 | | ② 学校と地域の連携 |
| 事業の概要 | 普通の授業による指導だけでは学習内容の定着が十分図られていない生徒の学力向上を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| ○受講対象 基山中全学年の希望者 ○指導員 教育経験者や大学生 GIGAスクール構想による、1人1台タブレットの整備が行われたことを受けて、今年度からタブレットを用いて授業の補充学習を行った。中学校の先生に授業の進捗を確認しながら行った。現在、習っている単元を指定してタブレットを使った自主学习に取り組ませることで、予習・復習となり、授業内容の補充という位置づけとした。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成26年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 1,133 | 千円 | 703 | 千円 |
| 内 補助金等 | 210 | 千円 | 210 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 放課後補充学習は生徒が指導員に質問しやすい雰囲気で行うため、積極的に指導員や周囲の生徒に尋ねるようになった。 |
| 事業の課題・問題点 | ・使用する教材の選定をしっかりと行う必要がある。令和3年度は初めてタブレットを使用しての学習を行ったが、今後は、プリントとタブレットと併用し、より効果的な学習ができるように検討したい。 ・資格等を有する指導員の確保が課題である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 ・中学校の先生とより密に連携をとり、授業の進捗に合わせた学習を生徒に促すことで、参加する生徒の基礎学力の定着を目指したい。 ・指導員の確保のため、近隣の大学等にも募集を行うなど広報に努めたい。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|------------------------------------|-----------------|-------------|--|
| | 64 | 学校図書室レファレンス支援事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | 担当係 | 図書館係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 2. 教育+idea | (1) 学校教育 | ③ 学校と図書館の連携 | |
| 事業の概要 | 学校図書室が受けたレファレンスを、幅広い資料を持つ図書館が支援する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 吉野ヶ里遺跡や鹿島干潟、唐津城、佐賀城、多久聖廟、防災、動物の赤ちゃん、虫の飼い方、LGBT、お仕事、地方創生、SDGs等について調べ、その関連した資料の提供を団体貸出として行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成10年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 53 | 千円 | 53 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 370冊の資料提供を行った。学校図書室を支援するとともに、学習の補助となる資料を、子どもたちに提供ができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 学校の先生や図書室の先生から、抽象的なテーマ(課題)で求められると、準備にあたっては具体的にどんな資料が必要なのか掘り下げなければならない。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 学校図書室の先生以外の先生方へ図書館が行うレファレンスについて周知を図っていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|-------------|------------|--|
| | 71 | 図書館情報アクセス事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | 担当係 | 図書館係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 2. 教育+idea | (2) 基山式まなび | ② まなびの場の創出 | |
| 事業の概要 | 紙ベースの資料提供のほかウェブサイト及びデータベースにより、情報収集できる環境の提供と地域情報を収集し、情報発信を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| ・毎月図書館が実施する事業や新刊の情報を記載した図書館だよりを発行し、大人版は町内に回覧、子ども版はボランティア団体の方により各学校や保育園等の児童へ配布した。 ・ホームページに、図書館事業や新刊を含む所蔵する蔵書の情報を掲載し、利用者の方に情報提供を行った。また、開館や利用制限等の最新情報を掲載し利用者の利便性の向上を図った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成19年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 85 | 千円 | 85 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | ・図書館だよりの大人版と子ども版を毎月発行することにより、図書館からの各種情報を住民の方々に届けることができ、図書館の利用増につなげることができた。 ・ホームページの蔵書検索により、利用者が望む書籍の検索がより迅速になり、利便性の向上につなげることができた。 ・子ども版図書館だよりを発行するにあたり、ボランティア団体の協力を得ながら行うことにより、図書館とボランティア団体の連携を深められた。 |
| 事業の課題・問題点 | ホームページによりよい情報を掲載するために、職員の操作向上のためにすべての職員の研修を行う必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 ホームページ上で蔵書検索できるだけでなく、そこで貸出中の資料に予約ができるネット予約を検討していきたい。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|------------|-------------|--|
| | 79 | 町体育協会補助金事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | 担当係 | 文化・スポーツ係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 2. 教育+idea | (3) スポーツ | ① スポーツ人口の拡大 | |
| 事業の概要 | スポーツの普及・振興と町民の健康・体力づくりを推進し、健康で豊かな町民生活の育成を図る体育協会への補助を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 基山町体育協会の活動(県民体育大会派遣費、体育協会運営費、職員手当等)に対して補助金を交付した。きやまロードレース大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となった。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成14年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 4,302 | 千円 | 3,402 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 基山町体育協会へ支援することで、町民が様々なスポーツに参加し、体育の向上と振興ができています。 |
| 事業の課題・問題点 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町主催事業の内容を変更したり、中止したりした事業もあった。コロナ対策をとりながら、工夫して事業実施に向け検討する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も、町民のスポーツ振興と健康増進を図るため継続して取り組んでいく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-------------|--------------|--|
| | 88 | 町内遺跡発掘調査事業 | | |
| 担当課 | 教育学習課 | 担当係 | ふるさと歴史のまち推進係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 2. 教育+idea | (4) 文化財の利活用 | ① 歴史的文化財の保護 | |
| 事業の概要 | 各種開発との調整等を行いながら町内の埋蔵文化財の調査を実施し、その保存を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|------------------------------------|-----------|----|-----------|----|
| 町内の各種開発と調整しながら、埋蔵文化財の調査を行い、保存を図った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成11年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 2,000 | 千円 | 758 | 千円 |
| 内 補助金等 | 1,360 | 千円 | 515 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 住宅建設・店舗建設等の各種開発との調整等を行い、町内の埋蔵文化財調査を通して、埋蔵文化財の保存を図った。 |
| 事業の課題・問題点 | 開発事業計画の進捗に応じて、埋蔵文化財の確認調査を行うこととなる。特に、大型開発計画については、早期に把握を行うなど、事前察知を積極的に行い、開発計画と文化財保護との調整を行う必要がある。また、埋蔵文化財確認調査に着手するためには、開発者等との連絡を密にし、土地所有者等の承諾等、諸条件を整える必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 大型開発計画については、早期に把握を行うなど、事前察知を積極的に行い、開発計画と文化財保護との調整を行う。また、埋蔵文化財確認調査に着手するためには、開発者等との連絡を密にし、土地所有者等の承諾等、諸条件を整える。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|--------------|---------------|--|
| | 92 | 経営所得安定対策推進事業 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 農林業振興係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (1) 農林業 | ① 農林業の維持管理の強化 | |
| 事業の概要 | 経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金の円滑な推進を図るため、基山町農業再生協議会に経営所得安定対策等推進事業費補助金を交付し、高収益作物の導入や転作作物等の付加価値向上に対して支援するもの。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|-------|-----------|-------|
| 地域における需要に応じた米の生産の推進を図るとともに、経営所得安定対策等推進事業費補助金等の活用を通じ、水田農業の構造改革の推進、水田を活用した作物の産地確立の推進、食料自給力・自給率向上を目指した取組の推進を図った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成15年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,188 | 千円 | 2,800 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 3,188 | 千円 | 2,800 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や米の需給調整の推進、地域農業の振興を図った。 |
| 事業の課題・問題点 | 特になし。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 国の制度の大幅な変更が予定されているため、それに適した事業実施となるよう県等と調整を行う(5年間水張りを行わなかった水田を補助対象外とする等)。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|-----------|---------------|--|
| | 94 | 生産組合長事務委託 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 農林業振興係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (1) 農林業 | ① 農林業の維持管理の強化 | |
| 事業の概要 | 経営所得安定対策に基づく生産調整の事務を円滑に進めるため、生産調整の現地確認や資料配布等を委託するもの。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 代表者:7人 生産組合数:60組合(1区:8、2区:8、3・9区:8、4区:13、5区:7、6区:9、7区:7) 農家戸数当に基づき、委託料を支払った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 464 | 千円 | 460 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 生産調整の現地確認等の事務を円滑に実施することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 農業者の高齢化や後継者不足による担い手不足が発生しており、新たな担い手の確保が必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 委託料の支払時期を早めてほしいといった意見があるため、委託金額を含め委託内容を検討していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|------------|---------------|--|
| | 100 | 農業生産基盤整備事業 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 農林業振興係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (1) 農林業 | ① 農林業の維持管理の強化 | |
| 事業の概要 | 農業用水路や井堰、ため池などの農業用施設の整備を行う際に、農業者及び農業者の団体に対して補助金を交付する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 従来、農業を始めるための新たな生産基盤の新設・整備を目的に本事業を実施していたが、現在、農業用施設等の整備を行うにあたっては、防災減災や景観維持等の多面的機能の発揮へとその目的を変えているため、農業生産基盤整備事業を廃止し、新たに農業・農村振興整備事業を12月に創設し、1件、補助金の交付を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和3年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 2,113 | 千円 | 1,138 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 令和3年度には、1件の補助金申請を受け、頭首工の改良に対し補助金を交付した。水路や頭首工、ため池については、特に防災減災の取組として整備を行うことが求められているため、補助金の交付により、その目的を果たすことができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 農業の担い手や農地の受益面積が減少しているなか、事業費のうち補助金以外の負担額が大きく、整備を行うべき施設であっても、その実施が難しい面がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 農業用施設の整備については、国及び県の補助事業も多く、また高補助率となっていることも多いが、申請要件等の課題があることから、それぞれの個別内容に応じて適切な事業実施を検討し、事業費が大きくなるものについては、なるべく国及び県の事業の活用を推進し、負担金の課題の解決を図っていくとともに、本事業の活用についても広く農業者等に周知する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|--------------|---------------|--|
| | 103 | 多面的機能支払交付金事業 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 農林業振興係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (1) 農林業 | ① 農林業の維持管理の強化 | |
| 事業の概要 | 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業用施設の維持管理や農村環境の保全を、農家や非農家が共同で行う活動に対し、補助金を交付し、支援するもの。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 活動組織数:8組織(宮浦、長野、中園、真尻、鎌浦、小松、猪の目、丸林) 活動の実地確認を行い、面積に応じて交付金を交付した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成19年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,967 | 千円 | 3,967 | 千円 |
| 内 補助金等 | 2,974 | 千円 | 2,974 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 農道・水路の保全、草刈り、有害鳥獣対策の強化等といった地域資源の基礎的保全活動等の共同活動を実施することで、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮ができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 構成員の高齢化による参加者の減少や後継者不足により、組織の維持、農業生産活動等が困難となってきている。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 加算措置を用いて、各活動組織が農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を実施できるよう、各活動組織との意見交換等を行い、支援を行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|----------|-----------|--|
| | 110 | 企業立地促進制度 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 商工観光係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (2) 工業 | ① 企業誘致の推進 | |
| 事業の概要 | 工場等を新たに立地する者に対し、補助金を交付して産業の振興と雇用機会の拡大を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|--------|-----------|--------|
| 町内への企業立地を推進するため、工場等を新たに設置した企業に対して企業立地特区補助金を交付した。 ・イニシオフーズ株式会社:企業立地特区補助金(雇用奨励補助金):15,000千円 ・日本タングステン株式会社:企業立地特区補助金(電気料金補助金):1,751千円 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成28年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 16,751 | 千円 | 16,751 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 16,751 | 千円 | 16,751 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 企業が本町での企業立地を検討する上での、好材料となり町内への立地及び増設へ進めることができたため、企業の立地促進による産業振興と雇用機会の拡大を図ることができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 産業用地が確保できていないため、民間開発による企業立地に委ねている。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 町内雇用の安定による定住の促進や行財政運営の安定化を図るため、企業立地を進めていく必要がある。そのためには町内の土地がフルに活用できるよう産業用地の確保を検討する必要がある。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|----------------------------------|--------------|-----|------------|
| | 115 | 中小企業小口資金貸付制度 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | | 担当係 | 商工観光係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 3. にぎわい+idea | (2) 工業 | | ② 安定運営への支援 |
| 事業の概要 | 町独自の小口資金融資の利用促進を図り、地元企業の育成に寄与する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|--------|-----------|--------|
| 契約した金融機関に対し、基山町中小企業小口資金の融資金を預託した。10事業者が金融機関より総額31,160千円の融資を受け、企業の持続発展及び振興に寄与することができた。 | | | | |
| 業務開始年度 | 昭和45年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 18,000 | 千円 | 18,000 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 18,000 | 千円 | 18,000 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 町内中小企業者の小口事業資金の需要に対する金融難を緩和し、経営の合理化を促進することにより、これらの企業の維持発展及び振興に寄与することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 特になし。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 町内中小企業者の金融難を緩和するため、継続して実施していく必要がある。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|----------------------------------|-----------------|------------|--|
| | 116 | 中小企業小口資金融資保証料事業 | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 商工観光係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (2) 工業 | ② 安定運営への支援 | |
| 事業の概要 | 町独自の小口資金融資の利用促進を図り、地元企業の育成に寄与する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|-----|-----------|-----|
| 前年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、セーフティネット保証への資金の借り換えが進んだため、基山町中小企業小口資金の貸付に対する保証料が減少していたが、令和3年度は例年並みの水準に戻ってきた。 | | | | |
| 業務開始年度 | 昭和45年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 536 | 千円 | 536 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 536 | 千円 | 536 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 町内中小企業者の小口事業資金の需要に対する金融難を緩和し、経営の合理化を促進することにより、これらの企業の維持発展及び振興に寄与することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 特になし。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 町内中小企業者の金融難を緩和するため、引き続き基山町中小企業小口資金の貸付けを受けた方の保証料を補給する必要がある。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|----------------|-----------------------------|--|
| | 122 | 大興善寺門前朝市プロジェクト | | |
| 担当課 | 産業振興課 | 担当係 | 商工観光係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 3. にぎわい+idea | (4) 観光 | ① 基山町の地域資源を売り出す(シティプロモーション) | |
| 事業の概要 | 大興善寺の春秋の見頃にあわせて、駐車場にて、軽トラック市を開催し、特産品等の販売及び販路拡大を推進する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 前年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて春秋共に中止となったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、大興善寺の駐車場にて「きやま門前市」を春と秋に開催した。 【春:4月24日(土)開催】出店者数:25事業者、来場者数:約900人 【秋:11月20日(土)開催】出店者数:25事業者、来場者数:約2,000人 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成28年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 1年半ぶりに新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、出店事業者の協力により春と秋に「きやま門前市」を開催することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 春秋の恒例催事として根付いてきているものの、コロナの影響等により出店事業者が減少傾向にある。また、例年周知内容や催事全体の内容に変化がなく目新しさに欠ける。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 基山町産業振興協議会の中核となる事業として継続して協力、支援を行う必要がある。 農家の生産スケジュールを踏まえながら、開催日の決定や出店者の募集等を早急に行い、関係機関等の協力を得ながら情報の発信を行う。 催事全体が魅力あるものとなるよう来場者に対する抽選会内容の検討や、出店者と連携した特典等の取組を検討していく必要がある。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|----------------|------------|--------|
| | 136 | 新生児特別定額給付金支給事業 | | |
| 担当課 | こども課 | | 担当係 | こども家庭係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ① 子育て支援の充実 | |
| 事業の概要 | 町民の出産を祝福し、次代を担う児童の健やかな成長を願うとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、基山町に住所を有する方が出産した場合に、対象児1人に対して5万円を給付する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|-------|-----------|-------|
| 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた子どもについて、対象児1人につき5万円を支給した。 令和3年度実績：支給人数109人、支給総額5,450千円 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和3年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 5,450 | 千円 | 5,450 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 5,450 | 千円 | 5,450 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て世帯の経済的負担を軽減した。 |
| 事業の課題・問題点 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としているため、交付金終了後の事業継続のための予算確保が必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|-------------------------------------|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 事業継続のための予算確保を行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------|------------|--|
| | 138 | 保育所育成事業 | | |
| 担当課 | こども課 | 担当係 | こども未来係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ① 子育て支援の充実 | |
| 事業の概要 | 保育施設を整備し、子育て支援を充実させるため、小規模保育所改修に対して補助を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|--|-----------|-----------|----|
| 私立の小規模保育施設(定員12名)に係る改修について、国庫補助金を活用し事業を実施した結果、令和4年4月1日に開園することができた。 | | | |
| 業務開始年度 | 令和3年度 | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 16,500 千円 | 16,500 | 千円 |
| 内 補助金等 | 11,000 千円 | 11,000 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 町民が子どもを安心して育てることができる体制の整備を図ることができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 施設の管理運営について、適正に運営されているか監査等により確認する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 完了 | 第2次評価 | 完了 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 適正な入所調整、施設給付費の請求の内容確認及び年1回の監査等により、施設の運営状況を把握する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|--------------|------------|--|
| | 141 | ひとり親家庭等医療費助成 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 子育て包括支援係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ① 子育て支援の充実 | |
| 事業の概要 | 母子(父子)家庭の母・父及び児童等が病院で診療を受けた場合、医療費の全部を助成する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|-------|-----------|-------|
| ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的として、医療費の一部負担金の全額補助を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成5年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 11,442 | 千円 | 9,979 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 4,878 | 千円 | 4,545 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 医療費の一部負担金の全額補助をすることにより、生活の安定と福祉の向上を図ることができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 償還払いの為、一度医療機関等の窓口での負担が必要となり、後日申請をする手間がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 生活の安定と福祉の向上のために、今後も事業を継続していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|------------------|---------------|--|
| | 146 | 虐待防止ネットワークづくりの強化 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 子育て包括支援係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ② 基山の子育ての輪づくり | |
| 事業の概要 | 要保護児童対策地域協議会・児童相談所との連携強化により、児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|---------------------------------------|-----------|----|-----------|
| 要保護児童対策地域協議会における代表者会議を1回、実務者会議を3回行った。 | | | |
| 業務開始年度 | — | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) |
| 総事業費 | 52 | 千円 | 46 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応のためには、関係機関が連携して取り組んでいくことが重要であり、基山町要保護児童対策地域協議会を開催することにより情報共有を図り連携強化に繋がった。 |
| 事業の課題・問題点 | 現代社会において、児童虐待は大きな問題であり、今後も引き続き関係機関との情報共有や連携強化を図る必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 子ども達の心身の健全な発達に影響を及ぼす児童虐待などを未然に防ぐために、関係機関と情報共有を図り連携を強化して事業の継続を行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-------------|---------------|--|
| | 147 | 地域子育て支援拠点事業 | | |
| 担当課 | こども課 | 担当係 | みらい館係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ② 基山の子育ての輪づくり | |
| 事業の概要 | 基山っ子みらい館内の子育て交流広場において、子どもと保護者が自由に楽しく遊べるところで、交流を通じて子育てに関する情報交換や仲間づくりの場の提供を行っている。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| <ul style="list-style-type: none"> 子育て交流広場のプレイルームを無料開放した。 子育てコンシェルジュを配置し、育児の悩みや相談に応じた。 イベントや教室等を開催した。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 9,309 | 千円 | 6,120 | 千円 |
| 内 補助金等 | 5,982 | 千円 | 4,080 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 利用者数: 延べ8,886人、相談件数: 26件(電話: 9件、来館: 17件)、イベントやサークルの参加者数: 延べ2,417人 |
| 事業の課題・問題点 | 少子化や核家族化により、子どもの育児に不安や悩みを持つ保護者や地域で孤立した子育てを行う保護者が年々増加している。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 子育ての悩みや不安を相談できたり、同じ子どもを持つ保護者同士のつながりを作る環境を提供することで、子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てができる環境づくりに努めていく。また、子育てに対する相談や悩みも年々多様化しており、子育て世代包括支援センターとも情報共有を図りながら連携して対応していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------|------------------|--|
| | 150 | 母子保健事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 子育て包括支援係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ③ 細やかな母子保健サービス体制 | |
| 事業の概要 | 乳幼児健診や乳児相談、育児訪問などの事業強化を図る。母子保健推進員や子育て交流広場との連携を深め、支援を強化する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 乳幼児健診・相談(2か月児家庭訪問、4か月児健診、6～7か月児健診、7～8か月児相談、9～10か月児健診、10か月児相談、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診)の実施。 教室(ぼっぼの会(1歳未満)、パンピの会(1歳～未就園児)、フツ化物塗布)の実施。 不妊治療助成、妊婦乳幼児健康診査、幼児発達支援相談、妊婦歯科健診の実施。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 21,188 | 千円 | 18,185 | 千円 |
| 内 補助金等 | 702 | 千円 | 850 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 妊娠期から乳幼児期まで健診や教室を通して、母子の健やかな成長を見守ることができた。また、子どもの心身発達の遅れの早期発見やその支援、親の育児不安を軽減するための支援ができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 幼稚園や保育園入所後は、子や親との関わりが少なくなるため、関係機関と連携を強化していく必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 幼稚園や保育園入所後も継続して見守りができるよう、巡回訪問等を行い関係機関と連携を強化を図っていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------------|------------------|--|
| | 151 | 子育て世代包括支援センター事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 子育て包括支援係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ③ 細やかな母子保健サービス体制 | |
| 事業の概要 | 子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健や育児、子育てに関する様々な悩みに等に保健師等が専門的な見地から円滑に対応し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| <p>妊娠期から出産後の母子の各種健診や相談の対応を行った。また、育児の様々な悩みについて訪問や電話、健診時に保健師等が対応し、さらに支援が必要な際には個別対応を行い、母子の支援を行った。関係機関とも連携し、情報提供や情報共有を行った。</p> | | | | |
| 業務開始年度 | 平成30年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 1,809 | 千円 | 1,757 | 千円 |
| 内 補助金等 | 1,507 | 千円 | 1,462 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 母子手帳の発行や各種健診を通して、妊娠期から子育て期まで関わりを持つことができ、子育てに関する様々な悩みに対応することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 就学後は、子どもの健診がなく就学前に比べて母子と関わる機会が減少するため、より一層各関係機関との情報共有が必要となる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行うために、関係機関と連携を強化し、情報共有に努め、今後も事業を継続していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|-----------|------------------|--|
| | 154 | 産後健診事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 子育て包括支援係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ③ 細やかな母子保健サービス体制 | |
| 事業の概要 | 産後うつを予防を目的に、産後1か月以内に産婦健診が2回受診できる支援を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|-----------|-----|-----|
| 産後うつの予防、新生児への虐待予防等を図るため、産婦健診を産後2週間前後と産後1か月前後の計2回実施した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和元年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | | |
| 総事業費 | 650 | 千円 | 475 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 325 | 千円 | 237 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 産婦健診を行うことにより、出産後間もない産婦の体調やこころの状態を把握することができ、産後うつの予防を図ることができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 里帰りなどで遠方の病院を受診した場合に、タイムリーな支援が難しいことがある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 産後うつの予防、新生児への虐待予防等を図るため、今後も事業を継続していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------|------------------|--|
| | 155 | 産後ケア事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 子育て包括支援係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (1) 子育て支援 | ③ 細やかな母子保健サービス体制 | |
| 事業の概要 | 産後において支援を必要とする母親及び乳児に対し、宿泊型産後ケアにより育児支援を行う | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 産後において、心身に不調がある方や周囲のサポートが得られない方を対象に産婦人科へ宿泊しケアを行う、産後ケアを実施した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和元年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 220 | 千円 | 100 | 千円 |
| 内 補助金等 | 110 | 千円 | 50 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 心身に不調がある方や周囲のサポートが得られない方が、産婦人科に宿泊し育児や体、こころに関する相談等を受けることで、心身の疲れや育児不安等の軽減につながった。 |
| 事業の課題・問題点 | 宿泊型のみの産後ケアなので、宿泊できない事情のある方がケアを受けられないため、育児不安等の軽減を図る必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 宿泊型の産後ケアだけでなく、宿泊を伴わない日中の産後ケアについても検討し、育児不安等の軽減を図るために今後も事業を継続していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|------------------|-----|--------------|
| | 156 | 民生委員児童委員協議会補助金事業 | | |
| 担当課 | 福祉課 | | 担当係 | 社会福祉係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 4. 安心安全+idea | (2) 高齢者支援 | | ① 安心できる高齢者支援 |
| 事業の概要 | 地区民生委員児童委員の活動を推進し、地域住民の生活状態の把握や福祉サービスの情報提供等を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|-------|-----------|-------|
| 民生委員児童委員は、地域における身近な相談相手として、地域住民と同じ立場で話を聞き、必要に応じた福祉サービスや育児支援サービスなどの相談と助言を行い、適切な関係機関との繋がりと役割を担っており、定期的な高齢者宅等への訪問を行っている。また、毎月開催される基山町民生委員児童委員協議会定例会では、それぞれの活動内容を発表し情報共有を行い、町内の高齢者福祉施設の勉強会や自筆証書遺言書保管制度、生活習慣病予防講座等の研修会を行い、今後の活動に繋げた。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和3年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 4,983 | 千円 | 4,983 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 2,490 | 千円 | 2,490 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 基山町民生委員児童委員の活動として、高齢者宅に訪問等を行う、声かけや安否確認などの活動を通して住民の実態やニーズを日常的に把握してもらうことで、必要な介護サービスや関係機関に繋げている。 |
| 事業の課題・問題点 | 高齢者の再雇用等により、民生委員児童委員の高齢化や、なり手不足が今後の課題となる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 民生委員児童委員の負担軽減や、民生委員協力委員制度の活用等を推進していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|---------------------|-------------------|--|
| | 169 | 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課、福祉課 | 担当係 | 健康増進係、保険年金係、高齢福祉係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (2) 高齢者支援 | ① 安心できる高齢者支援 | |
| 事業の概要 | 高齢者の低栄養や糖尿病重症化予防等に重点を置いて保健事業と介護予防事業を行い、後期高齢者等の健康増進を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 対象者への保健指導: 75人(ハイリスク者) 「腎の会」を10回開催: 参加延べ人数28人、「糖の会」1回開催: 参加人数11人、出前講座4回実施: 参加人数83人 介護予防健診受診者のうち、下肢筋力低下者と認められる10名を筋力アップ教室(8回コース)に案内し、3名参加。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和元年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 1,160 | 千円 | 476 | 千円 |
| 内 補助金等 | 1,160 | 千円 | 476 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 保健師・管理栄養士の医療専門職にて訪問を中心に関わりを持つ体制を持って事業を行うことができた。前年度から事業が開始していたことにより、引き続き関わりをもって訪問ができる体制となった。 筋力に低下の見られる方に対し、筋力の維持向上と自立した生活を継続するための栄養改善や口腔機能改善等の講習を行った。実施前と実施後の測定結果から筋力アップによりバランス機能や歩行能力の向上があり、日常生活への不安の解消に繋がり、効果があった。 |
| 事業の課題・問題点 | 定期受診が多く、健診受診への受診勧奨などから行ったが、次年度に向けて、早期に取り組むよう体制を整える必要がある。また、県外での定期受診者に関しては、定期的な受診ができていないか、レセプトで確認、コントロール状況の把握ができるように継続的な関わりが必要である。 講習会受講後に、自宅で取組を継続させるため、自身が継続的に取り組めるような仕組みが必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 対象者と関わりを持つ時期を早くし、定期的な受診確認やコントロール状況の確認を行いながら、事業を継続する。運動機能の向上により、日常生活でより快適に過ごせることや、栄養改善や口腔機能の改善により、健康で元気に生活できることを周知し、保健指導と併せて取り組んでいく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | |
|---------------|---|-----------|------------------------|
| | 199 | 国民年金事務 | |
| 担当課 | 福祉課 | 担当係 | 保険年金係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 |
| | 4. 安心安全+idea | (4) 健康・医療 | ① みんなが元気なまちへ(健康づくりの強化) |
| 事業の概要 | 日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の方で、厚生年金保険に加入していない方の加入手続きを行う。その他免除や猶予制度の案内、生活保護や障害基礎年金受給に伴う法定免除等の開始や廃止手続きを行う。 | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| ・申請、届出の受付、相談、年金機構への報告業務 ・社会福祉係、障がい福祉係と連携し、生活保護の受給開始や廃止等及び障害年金の受給者について、法定免除該当・非該当の手続きを行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 53 | 千円 | 43 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 53 | 千円 | 43 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | ・申請、届出の受付、年金機構への報告業務等を滞りなく実施し、住民サービスの維持ができています。 ・社会福祉係、障がい福祉係との連携により、生活保護の受給・廃止の把握や障害年金受給者の法定免除の開始及び廃止に係る手続きを徹底することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 生活保護の受給や廃止に関しては、関係する係と横の連携を密にしなければ把握が困難なため、情報の共有や報告・連絡・相談の徹底、それに伴う迅速な手続きが必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 制度改正が行われる際には、業務に支障がないよう情報収集を徹底し、迅速に対応することが必要である。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|--------------|-------------|--|
| | 201 | 救急医療情報システム事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 健康増進係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (4) 健康・医療 | ② 地域医療体制の充実 | |
| 事業の概要 | インターネットを活用して救急医療体制や地域の医療機関を検索できるシステム(佐賀県救急医療情報システム)により、緊急時に必要な情報を提供する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 医療機関情報・救急医療情報システムは、県内の病院・診療所、消防機関などをインターネットで結び、救急医療や医療機関の情報を住民に知らせるとともに、医療機関相互の連携に活用するものである。 ○医療機関情報：地域の医療機関や歯科医療機関の情報を案内 ○救急医療情報：最寄りの救急医療機関を案内 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 141 | 千円 | 130 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | あらゆる事態にも対応できるように、インターネットを経由して専門医や救急病院を探すことができる。 |
| 事業の課題・問題点 | 高齢者などのインターネット等を利用できない世代にどのように利用していただくか課題が残っている。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 パソコン教室やタブレット教室への参加を促しスマートフォンやタブレットを身近に感じてもらえるように周知する必要がある。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------|-------------|--|
| | 202 | 休日救急医療事業 | | |
| 担当課 | 健康増進課 | 担当係 | 健康増進係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (4) 健康・医療 | ② 地域医療体制の充実 | |
| 事業の概要 | 日曜祝日の診療を、鳥栖市休日救急医療センターで実施することにより、休日の救急医療の対応を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|-------|-----------|-------|
| 休日の救急医療の対応を行うため、鳥栖市休日救急医療センターで日曜祝日の診療を行い、基山町から200名受診した。(昼間:166名、夜間:34名) ※内科・小児科の診療及びその他の診療科目については2次医療機関へ移送し、治療につながった。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成14年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 7,093 | 千円 | 4,278 | 千円 |
| | 内 補助金等 | 7,093 | 千円 | 4,278 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 休日に昼夜を問わず、体調が悪くなった方の応急処置ができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 休日救急医療センターの診療科目が内科・小児科しかないため、それ以外の多様な症状を持つ方に対応できるように、2次医療機関との連携が必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も継続して休日の救急医療体制を維持する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|------------------------------------|-----------|---------------|--|
| | 204 | 防犯カメラ設置 | | |
| 担当課 | 住民課 | 担当係 | くらしの安心・安全係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | ① 安全なまちづくりの推進 | |
| 事業の概要 | 町民の安心・安全に役立てるため、防犯カメラを設置し、維持管理を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|---|-----------|-----------|----|
| 防犯対策担当、道路管理者、教育委員会、地元区長、安全なまちづくり推進協議会委員等で合同点検を実施した結果、全行政区と調整を行い、必要な箇所に防犯カメラの設置を行った。令和3年度は、10か所に計17台の防犯カメラを設置し、犯罪の抑止力を高めた。 | | | |
| 業務開始年度 | 平成27年度 | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,440 千円 | 3,371 | 千円 |
| 内 補助金等 | 1,122 千円 | 1,122 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度犯罪(侵入盗・乗り物盗・自販機ねらい・車上ねらい等)件数は33件で、昨年度に比べ9件減少した。 警察から防犯カメラの画像提供の依頼があった場合は、データを提供することで早期の事件解決に役に立っている。 |
| 事業の課題・問題点 | 犯罪の抑止力効果を持続させるため、防犯カメラが正常に動作しているか稼働状態の点検を定期的実施する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 防犯カメラの設置は、今後も防犯対策上必要な箇所に設置していく。また、犯罪の抑止力効果を持続させるため、防犯カメラが正常に動作しているか稼働状態の点検を定期的実施する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------|-----|---------------|
| | 206 | 交通安全対策事業 | | |
| 担当課 | 住民課 | | 担当係 | くらしの安心・安全係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | | ① 安全なまちづくりの推進 |
| 事業の概要 | 街頭啓発や普及活動の交通安全対策を行う。また、事故防止のための転落防止柵、カーブミラー、区画線、カラー舗装等の交通安全施設の設置、修繕及び維持管理を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖・三養基地区交通安全協会、鳥栖警察署、交通安全指導員による交通安全街頭キャンペーン、小中学校での交通安全教室、登下校における地域での交通安全見守り活動を実施した。 ・高齢者等への交通安全教育については、広報等で定期的に交通安全に関する内容を掲載し、交通事故防止の注意喚起を行った。また、高齢者による交通事故の減少を図るため、自ら運転免許証を返納した高齢者の方への支援を行う高齢者運転免許証自主返納支援事業等の説明を出前講座で1回行った。 ・地元区長や地元関係者、関係機関と協議の上、カラー舗装の設置、転落防止柵の設置、区画線の引き直し、ラバーポール設置、カーブミラーの修繕・設置、横断旗や飛び出し人形の設置等の交通安全施設の計画的な整備を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 40,729 | 千円 | 39,195 | 千円 |
| 内 補助金等 | 14,300 | 千円 | 14,300 | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・基山町民の令和3年中の人身交通事故発生状況は、1万人当り12.11件で県内で1番発生件数が低い結果であった。 ・令和3年度高齢者運転免許証自主返納者数は94人であった。 |
| 事業の課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度については、コロナ感染防止のため交通安全講習会等を開催できなかった。 ・交通安全に関する情報について、関係課と連携し、特にひとり暮らしの高齢者の方に対する周知を検討する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も出前講座や交通安全教室、交通安全街頭キャンペーンの実施、広報等で交通安全に関する内容を定期的に掲載し、交通事故防止に努める。特に、ひとり暮らしの高齢者の方に対しては、生活支援コーディネーター等と連携し、情報の提供や注意喚起を図る。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|----------------------|------------|-----------|--|
| | 212 | 地域防災計画の見直し | | |
| 担当課 | 総務課 | 担当係 | 防災係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | ② 防犯体制の強化 | |
| 事業の概要 | 防災計画を見直し、防災体制の充実を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 基山町地域防災計画の見直しを行い、令和3年5月の基山町防災会議にて改訂の了承をいただき、改訂した。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 防災活動の効果的な実施を図るため、町の対応すべき事務を中心として計画を定めており、災害対応時に活用する。 |
| 事業の課題・問題点 | 毎年大規模な自然災害が各地で発生しており、町としても大規模災害が発生した場合の対応を事前に定めておく必要があり、今後も避難のタイミングや、災害対応等を現状に合わせた地域防災計画を更新する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 国の防災基本計画や佐賀県地域防災計画と整合性を保ち、計画の修正が必要な場合は、基山町防災会議を開催し修正を行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|-----------|-----------|--|
| | 213 | 防災対策強化事業 | | |
| 担当課 | 総務課 | 担当係 | 防災係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | ② 防犯体制の強化 | |
| 事業の概要 | 防災行政無線の維持管理及び、電話による防災行政無線の放送内容を知らせるシステムの維持管理を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 防災行政無線や防災に関するシステムの維持管理を行った。さらに、民生児童委員会にて、防災行政無線の内容をFAXでお知らせするシステムを説明し、耳が聞こえづらくなった方への周知を図った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 1,650 | 千円 | 1,571 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 防災情報伝達手段として、防災行政無線や電話連絡システム等の新設や維持管理を行う。 |
| 事業の課題・問題点 | 住民への防災情報伝達手段として、防災行政無線や電話連絡システム、エリアメール等を活用した防災情報を知らせているが、今後も住環境に合わせた防災情報伝達手段を検討していく。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も防災情報を住民の方に提供していく為に、防災行政無線の維持管理や、システムの更新等を行っていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-----------|-----|-----------|
| | 214 | 非常備消防費事業 | | |
| 担当課 | 総務課 | | 担当係 | 防災係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | | ② 防犯体制の強化 |
| 事業の概要 | 火災や災害時などに出動する、消防団の運営費。消防団員確保対策や、消防車両等の維持管理、自主防災組織への支援を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | | |
|--|--------|-----------|-----------|--------|----|
| 消防団員の年額報酬の改善に向けて、次年度からの要綱等の改定を行った。 消防団員確保対策として、団員勧誘員制度を次年度から始めるための要綱を制定した。 消防車両等の維持管理として、消防車両の6か月点検、12か月点検及び車検を実施した。 自主防災組織への支援として、佐賀県の自主防災組織リーダー研修会を基山町で実施するとともに、基山町自主防災組織リーダー研修会も実施した。 基山町消防団の訓練では、令和3年11月に秋の防火訓練を第5部管内で実施したが、令和4年3月の春の防火訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止した。 | | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | | |
| | | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | | |
| 総事業費 | 15,193 | | 千円 | 13,509 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 災害時に消防団の出動により火災の消火活動や、水害等で土のう積み、広報活動を行うことで、町民の財産が守られている。また、日頃から訓練をすることで、消防技術の向上を図っている。 |
| 事業の課題・問題点 | 消防団員の確保や、地元企業に勤めている団員が少ないため、昼間の災害出動人員不足が課題となっている。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 消防団員の確保や、昼間の人員不足については、支援団員を導入しているが、今後も団員確保について検討する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|----------------------------------|-----------|-----------|-----|
| | 215 | 常備消防費事業 | | |
| 担当課 | 総務課 | | 担当係 | 防災係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | ② 防犯体制の強化 | |
| 事業の概要 | 鳥栖・三養基地区広域消防の運営費負担金及び佐賀県防災航空隊負担金 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 鳥栖・三養基地区消防事務組合基山分署において、町内の救急出動や火災の消火活動を行った。また、基山町消防団と連携した火災防御訓練や教養訓練等で指導を受けた。 また、今年度から県内ほぼ全域を15分以内で駆けつけることができる、佐賀県の消防防災ヘリコプター『かちどき』が運用開始し、防災訓練等の災害予防活動を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 220,492 | 千円 | 220,492 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---------------------------------------|
| 事業の成果・効果 | 緊急車両の共有により、多種多様な車両が配備され、現場に応じて対応ができる。 |
| 事業の課題・問題点 | 鳥栖三養基地区において、大規模災害が発生した場合の対応に課題がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 鳥栖・三養基消防事務組合基山分署と、基山町消防団において今後も様々な災害を想定した訓練を行っていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--------------------------|-----------|-----|-----------|
| | 216 | 消火栓更新事業 | | |
| 担当課 | 総務課 | | 担当係 | 防災係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 4. 安心安全+idea | (5) 防犯・防災 | | ② 防犯体制の強化 |
| 事業の概要 | 耐用年数を経過した老朽消火栓を計画的に更新する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|--------|-----------|-----------|----|
| 老朽化した消火栓2基を更新した。 佐賀県東部工業用水道管理事務所と協議し、工業用水道管に設置した9基の消火栓の更新時期等について協議した。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 3,685 | 千円 | 2,891 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 消火栓は消火活動に欠かすことのできないインフラであり、定期的な更新による維持管理により、暮らしの安心と安全の確保に貢献できた。 |
| 事業の課題・問題点 | 特に課題や問題点といった事項はないが、消火栓の耐用年数等の詳細な基準があれば、それに従い更新計画を立てることができる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も、器具等の長寿命化を図り、適切に維持管理していく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|----------------------------|-----------|-----|---------------|
| | 219 | 公民館維持管理事業 | | |
| 担当課 | まちづくり課 | | 担当係 | 文化・スポーツ係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 5. 協働+idea | (1) まちの結束 | | ① コミュニティ活動の推進 |
| 事業の概要 | 町内17区の公民館の運営育成に要する経費を補助する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|--|-----------|-----------|----|
| ・公民館長・副公民館長への報酬支払。公民館長:81,400円/年、副公民館長:24,200円/年 ・各自治公民館活動に対する補助金交付。1区～17区合計:1,652,088円 ・第5区、第12区公民館改修工事に対する補助金交付:4,043,366円 | | | |
| 業務開始年度 | 平成10年度 | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 9,542 千円 | 7,561 | 千円 |
| 内 補助金等 | — 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 公民館改修等の補助金制度があるため、各区の必要に応じた改修ができ、公民館維持管理に効果がある。 |
| 事業の課題・問題点 | 特になし。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--------------------------------|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後も取組を継続する。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|----------|------------|----------|
| | 229 | 広報きやまの発行 | | |
| 担当課 | 企画政策課 | | 担当係 | 広報・情報管理係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (3) 情報公開 | ① 開かれた情報公開 | |
| 事業の概要 | 「広報きやま」を月2回発行し、行政情報や基山町の魅力を町民にむけて発信する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 「紙面の見やすさ」を追求し、毎月1日号に掲載しているカレンダーの改良に取り組んだ。 また町内で開催された文化・スポーツイベント取材し、写真を紙面に多く掲載することで、町民に楽しんでいただける広報紙を目指した。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| 総事業費 | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| | 4,059 | 千円 | 4,005 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 紙面の随所にイラストを使い、情報をわかりやすく整理するとともに、デザイン性を高め、読みやすい紙面づくりを行った。 また特集記事などを掲載し、読み手の関心を高め、基山町の情報を魅力的に発信した。 |
| 事業の課題・問題点 | 現在月2回発行している広報について、1回にする要望が出ている。今後の基山町の広報のあり方や情報発信の方法などを踏まえ、発行回数等も検討する必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 令和4年度に広報発行回数を月1回とする検討作業と試行を行う。 課題を整理して、令和5年度から月1回発行とすることを旨とする。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | |
|---------------|--|-----------|-------------|
| | 235 | 新地方公会計の整備 | |
| 担当課 | 財政課 | 担当係 | 財政係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ① 安定した行財政運営 |
| 事業の概要 | 統一的な基準による財務書類等を作成し、資産や負債の把握・管理や予算編成・決算分析等に活用し、財政の効率化・適正化を図る。 | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | |
|--|-----------|-----------|----|
| 財務書類の作成に必要な情報である固定資産台帳更新、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書の作成を税理士法人諸井会計に委託した。 | | | |
| 業務開始年度 | 平成28年度 | | |
| | 令和3年度(予算) | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 2,640 千円 | 2,640 | 千円 |
| 内 補助金等 | — 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 固定資産台帳を更新することで、新しく総務省から示された統一的な基準による貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書を作成することにより、経年推移の分析や他団体との比較が容易になった。 |
| 事業の課題・問題点 | 財政運営の効率化・適正化を図るため、固定資産台帳や財務書類に基づく指標、資産や負債のストック情報等を予算編成や公共施設の長寿命化対策等に連携させていくことが課題となる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 本事業で得たデータを今後の財政計画や公共施設等総合管理計画の見直しに活用し、財政運営の効率化・適正化に努めたい。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-------------|-------------|-----|
| | 237 | 議会タブレット導入事業 | | |
| 担当課 | 議会事務局 | | 担当係 | 庶務係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ① 安定した行財政運営 | |
| 事業の概要 | 議会にタブレット機器を導入することにより、ペーパーレス化、業務の効率化を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 議会におけるペーパーレス化、業務効率化を図ることを目的に令和3年2月にタブレットを導入し、令和2年度中に操作研修等を実施した上で令和3年度から本格運用を開始した。 まずは、全員協議会・各委員会の資料や各議員への通知等をタブレットによるペーパーレス運用を行い、本会議においては6月定例会に既存ペーパーとの並行運用を行い、9月定例会からはタブレットのみの運用へ移行した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 令和2年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 1,379 | 千円 | 1,379 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | ペーパーレス化することで、議案等(各資料や通知文、議案等の差替え文書)は紙書類で送付しなくてよくなるため、印刷事務や送付事務が省け、事務の簡素化効率化につながった。 また、文書検索の向上、保存管理の効率化も図れる。各議員においても、情報の管理・検索が容易となった。 |
| 事業の課題・問題点 | 本会議の議案等については既存のペーパーで送付されるため、データ化する際に間違いがないような対応が必要となる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 完了 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】 送付された議案等については、データ(PDF)化及びデータ化された資料の格納、表示の確認や編集を行い、別の職員が紙資料との照合を行っており、今後も議会運営に支障がないような体制を継続して行っていく。 【第2次評価】 導入については完了している。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|-------------|-------------|----------|
| | 245 | 内部情報系システム事業 | | |
| 担当課 | 企画政策課 | | 担当係 | 広報・情報管理係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ① 安定した行財政運営 | |
| 事業の概要 | 事務の効率化や処理のスピード化を図るため、システムを構築している。これらの業務が円滑に行われるために、システムの適正な運用を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 職員がコンピュータを用いて文書管理や伝票処理、施設管理等の業務を円滑に行えるように、システムの管理・運用を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 12,386 | 千円 | 12,381 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 業務に支障が無いようにシステムが稼働し、円滑に運用されている。 令和3年度にシステムの更新を行い、職員が様々な業務を効率的に行うことのできるように環境を整備している。 |
| 事業の課題・問題点 | システム更新も特に問題もなく無事完了した。現状大きな課題は見受けられないが、ウイルス感染などのセキュリティの問題については常に注意していく必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 業務に支障が出ることがないように、安定したシステム管理と運用を行う。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|------------------|-------------|----------|
| | 250 | 自治体情報システム強靱性向上事業 | | |
| 担当課 | 企画政策課 | | 担当係 | 広報・情報管理係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ① 安定した行財政運営 | |
| 事業の概要 | マイナンバー利用事務系システムである基幹系システムについて、ログイン時の2要素認証、USB制御機能によるデータの持ち出し禁止を導入し、個人情報の流出を防止する。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 平成28年度に導入を完了したインターネットと役場内のシステムを分離するセキュリティ強化のシステムについて、令和3年度も継続し運用・保守を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 2,723 | 千円 | 2,723 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 総務省の方針に沿い、マイナンバー利用事務系・LGWAN接続系・インターネット接続系の各種ネットワークの分離を行い、セキュリティの強化を行った。 |
| 事業の課題・問題点 | 上記ネットワークの分離を行ったことにより、セキュリティは高まったが、インターネットに接続する業務で手間がかかり課題となっている。 セキュリティ強化のシステムも導入してから一定の期間が過ぎており、新システムへの移行が必要である。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 インターネットセキュリティは日々新しい情報の更新が必要となるため、研修等を積極的に受けるなど、担当者のスキルアップを目指す。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|--|--------------|-------------|------|
| | 255 | エルタックスシステム事業 | | |
| 担当課 | 税務課 | | 担当係 | 住民税係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ① 安定した行財政運営 | |
| 事業の概要 | 地方税における手続きを電子的に行うエルタックスシステムを運用し、納税者の利便性の向上及び課税事務の効率化を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|---|-----------|----|-----------|----|
| 個人住民税に関する給与支払報告書や法人住民税に関する申告書、固定資産税(償却資産)に関する申告書などがエルタックスシステムを經由し電子データで届いている。地方税共通納税システムを利用した納税も年々増加している。令和3年度は、システムを利用するパソコンの更新を行った。また、個人住民税の当初税額通知の一部を電子データで送信した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成20年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 2,355 | 千円 | 2,326 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | エルタックスシステムを利用した電子申告や地方税共通納税システムを利用した納税を確実に受け取ることができた。 なお、申告書などの各種課税資料については、全体の76.6%にあたる17,454件をエルタックスシステムで受信した(令和2年度は全体の72.4%)。 |
| 事業の課題・問題点 | エルタックスシステムの利用率は年々増加しているが、今後も継続して増加するように、税目の拡大などについて適切に実施していく必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|--------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針(課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後は、エルタックスシステムが利用できる税目の拡大や給与支払報告書の電子的提出の義務化などが予定されているため、本事業を継続する必要がある。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---------------------------|---------|-----|-------------|
| | 256 | 庁舎等改修事業 | | |
| 担当課 | 財政課 | | 担当係 | 財産管理係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | | 具体的な施策 |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | | ① 安定した行財政運営 |
| 事業の概要 | 庁舎・町民会館・保健センター等に必要な修繕を行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 庁舎空調設備のうち、室内の温度を調節する空調ファンコイルユニット制御機器の修繕を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 11,000 | 千円 | 11,000 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|---|
| 事業の成果・効果 | 空調ファンコイルユニット制御機器の修繕を行うことで、適正な温度管理を維持することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 庁舎等は建築後20年以上を経過しており、経年劣化が進んでいる箇所も見受けられる。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 今後は外壁改修、屋根改修、空調等設備の更新が求められるため、計画的に維持対策を講じていく。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|-------------------------------------|-----------|-------------|-----|
| | 263 | 人事評価制度の実施 | | |
| 担当課 | 総務課 | | 担当係 | 行政係 |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ① 安定した行財政運営 | |
| 事業の概要 | 上司による評価を実施し、職員のやる気を引き出すような制度の構築を図る。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--------------------------------|-----------|----|-----------|----|
| 職員の人事評価を実施し、昇給及び勤奨手当の成績率に反映した。 | | | | |
| 業務開始年度 | 平成28年度 | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |
| | 内 補助金等 | — | 千円 | — |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 職員の人事評価を実施し、上司による面談などを通じての人事管理、業務進捗管理等に用いるとともに、職員の能力・実績に応じて適正に昇給及び勤奨手当の成績率に反映することができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 特になし。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|--|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 法定の制度なので、継続して実施していく方針である。 | | | |

令和3年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

| 事業 | 事業番号 | 事業名 | | |
|---------------|---|----------------|---------------|--|
| | 267 | グランドクロス広域連携協議会 | | |
| 担当課 | 企画政策課 | 担当係 | 総合計画推進係 | |
| 総合計画基本計画の位置付け | 基本計画 | 施策体系 | 具体的な施策 | |
| | 5. 協働+idea | (4) 行財政 | ③ 効果的な広域行政の推進 | |
| 事業の概要 | 筑後川流域クロスロード協議会構成自治体に福岡市を加えた4市1町で構成し、観光や企業誘致などを行う。 | | | |

2. 事業の実績(Do)

| 令和3年度に実施した取組内容 | | | | |
|--|-----------|----|-----------|----|
| 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、例年通りの活動ができなかったが、企業誘致部会ではオンラインにて企業誘致に関する施策検討及び情報交換等を行った。 | | | | |
| 業務開始年度 | — | | | |
| | 令和3年度(予算) | | 令和3年度(決算) | |
| 総事業費 | 50 | 千円 | 0 | 千円 |
| 内 補助金等 | — | 千円 | — | 千円 |

3. 評価(Check)

| 事業評価 | |
|-----------|--|
| 事業の成果・効果 | 各市町の企業誘致にかかる取組状況や補助制度について情報共有を行うことができた。 |
| 事業の課題・問題点 | 企業誘致部会・観光部会に出席する産業振興課と事務局の企画政策課との間の情報共有を十分に行い、企業立地の可能性を見出す方法の取得や共同観光PRIによるシティプロモーション等につなげていく必要がある。 |

4. 今後の事業の方向性(Action)

| 事業の方向性 | 第1次評価 | 継続 | 第2次評価 | 継続 |
|------------------------|---|----|-------|----|
| 今後の取組方針 (課題に対する改善等) | 【第1次評価】・【第2次評価】 アフターコロナにおける圏域経済全体の活性化を目的として、企業誘致やインバウンド観光客の誘客のための取組を進めていく。 | | | |